

# 樂說紀聞

乾

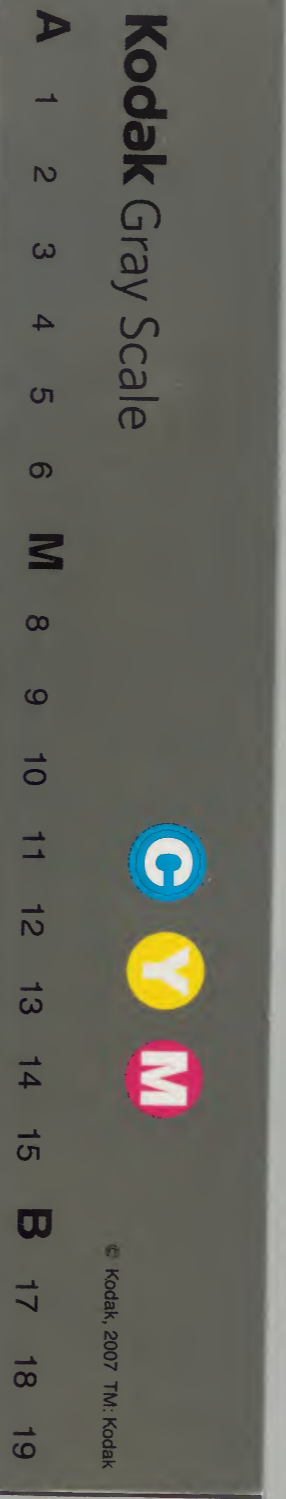
香林書冊

			一七二	和書門
二	九	二	二	類
冊	架	函	號	

庫文閣内			
九	七		和
九	二		書
函	二		
五			
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 17122
冊數	2 ( 1 )
函號	199 111

199-111



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

樂說紀聞序

淺草文庫

浩瀾子者小濱城主中大夫

酒井氏之儒士也嘗依君命

抄出樂部之諸書而作式冊

子捧呈之名諸樂說紀聞顧

其為書則不附已心而咨詢

111-001

之樂家者流以決疑訂誤云  
云頃間詰一語于我夫樂者  
非我之所業而殊我之所未  
孰也何以分辯是非決訂疑  
誤乎既今問樂家者流而作  
之依樂部諸書而抄之創其  
書之旨豈待我論評乎取讀  
難拒乃以書云爾

享保癸卯三月下旬

因子祭酒兼經筵講宮林士僖甫識

樂說紀聞目錄

卷之上

中華ニテ樂ノ始ノ事

日本工樂ノ傳來ノ事

樂ノ調子ノ事 并律呂ノ事

樂曲ノ名ノ事

亂聲<sup>ラニシヤウ</sup>并振舞<sup>マシマフ</sup>ノ事

公家ニテ樂ヲ業トシ給フ家ノ事

地下樂人家業ノ事

之樂家者流以次疑訂謀去  
元頃問請一語于我大樂者  
非有固子陰極道然安歸宮林士衛由焉  
樂則音階之有辨是亦決訂疑  
雖辨必心割極蘇者流而休  
書終樂豈諸燭論得至則焉

和琴ノ事

琵琶ノ事

箏ノ事

羯鼓ノ事

三之鼓ノ事

太鼓ノ事

鉦鼓ノ事

笙ノ事

篳篥ノ事

横笛ノ事

箏ノ事

柏子ノ事

琴ノ事

祝歌ノ事

舞樂ノ器

樂器ノ入ル袋ノ事

本朝用ヒ寸ル樂器ノ事

卷之二

卷之下

樂器譜ノ事

朗詠并披講ノ事

神樂并催馬樂ノ事

五節舞ノ事

高麗樂ノ事

御遊并舞樂ノ事

樂器名物ノ事

樂說紀聞卷之上 浩瀾松田健編集

中華ニテ樂ノ始ノ事

世本ニ云ク伏羲琴瑟ヲ以テ是レト是樂ノ

始ナリ黃帝ニ至テ伶倫ニ命シ八音ヲ

考工八風ヲ調和シ雲門ノ樂ヲ伶レリ

帝舜ハ五常樂ヲ伶ル又典樂ノ官ヲ置

ク書經ニ見エタリ武王ハ太平樂ヲ

作り周ノ代ハ百年ノ正風ヲ閑ク了樂

ノ權輿ナリ又漢ノ武帝協律都尉ヲ置

キ李延年コレ任ス中華ニ樂官アリ

始ナリト事物紀原ニ出タリ風ニ

日本工樂ノ傳來ノ事ニハ六平樂

人皇三十代欽明天皇即位ノ十五年

十四年ニ百濟國ヨリ樂人數人ヲ貢ル

ト日本紀ニ見エタリ是日本工樂ノ來

ル始ナリ又雅樂寮ヲ置ク始ナリ樂人

モトハ一ツニ舞樂シケルカ大神公持

カ時ニ始テ左右ニ舞ヲ分テ曰ク今

左方右方トワカレタリ太神公持ハ

未孫ニテ舞曲正臨モ其詞臨モ月也

樂ノ調子ノ事律呂ノ事ハ

夫樂ハ天地神明ニ通シ高妙ノ曲ナリ

故ニ和漢トモニ賞嘆シ昔ハ樂ヲ用テ

早ニハ雨ヲフウシ霖雨ニ晴ヲ祈レハ

天忽ニ晴ルトカヤカニル奇妙モ皆自

然ノ調子ノ為ル所ナリ調子ニ五音ト

云月アリ宮中央ニ當ル商西方ニ當ル角東方ニ當ル

ル 徵南方ニ 羽北方ニ コレナリコレヲ  
 四季ニ比スレハ宮ヲ土用トシ高ヲ秋  
 ト比角ヲ春トシ徵ヲ夏トシ羽ヲ冬ト  
 ス五行ニ配スレハ宮ハ土高ハ金角ハ  
 木徵ハ火羽ハ水ナリナテ宮ハ一越調  
 ナリ高ハ平調ナリ角ハ雙調ナリ徵ハ  
 黃鐘調ナリ羽ハ盤渉調ナリコレヲ五  
 調子ト云フノ五調子ニ七調子ヲ加工  
 ナリ十二調子ト云十二月ニ比シテ用フ  
 壹越ハ正月斷金ハ二月平調ハ三月勝  
 絶ハ四月下無ハ五月雙調ハ六月鳧鐘  
 ハ七月蕤鐘ハ八月鸞鐘ハ九月盤渉ハ  
 十月神仙ハ十一月上無ハ十二月ノ調  
 子ナリ十二調子ノ名ハ上代日本ニテ  
 名ツク何人ノ名ツケト云テハ詳ナ  
 ラス

○律呂ハ中華ニテ六律六呂ト名ツケ  
 月ナリコレモ月日比スレハ大簇ハ正



月律ト夾鐘ハ二月ス呂ト始洗ハ三月ト律  
ハ仲呂ハ四月ス呂ト蕤賓ハ五月ス律ト林  
 鐘ハ六月ス呂ト夷則ハ七月ス律ト南呂ハ  
 八月ス呂ト無射ハ九月ス律ト應鐘ハ十月  
ス呂ト黃鐘ハ十一月ス律ト太呂ハ十二月  
ス呂トコレ十リ十二調子ソ肉一越雙調  
ノ聲ハ和十リ故ニ呂トス平調黃鐘盤  
 涉ノ聲ハ急十リ故ニ律トス古書ニ七  
 律ヲ男ニ比シ陽十リ吹息トス呂ヲ女

○且北シ陰キリ吸息トス爾雅ニ云律謂  
 之分律管可以分氣也コレ律ノ字義十  
 リ呂ハ字書ニ七陰律ノ名トス漢書律  
 歷志云呂旅也言陰氣旅助陽氣也又長  
 也ト注セリ律呂ノ事委ハ火記漢書其  
 外後漢書晉書唐書性理大全ヲ以テ證  
 卜シ見ハ其大意ヲ知ヘシ一説ニ呂ノ  
 律ニ移ル時ヲ反カ音ト云何レ七終ハ律  
 十ル一シ寒暑ニ依テ手替ル十リ律寒

呂温ナリトアリ

○調子ハ前ニ記ス所ノ宮高角徵羽ノ五

音ナリ此外ニ又變徵變宮ノ二音アリ

變徵ハ上無ナリ變宮ハ下無ナリ

○枝調子ト云テアリ平調ニ性調黃鐘ニ

水調大食調ニ乞食調壹越ニ沙陀調

ルナリ盤涉調雙調ニハ枝調子ナリト

夜鶴庭訓抄ニ見エタリ

○日本ノ律ハ調ハ角一律高シ中華ヨリ

渡タル律書ニ今ノ律ノ調ハナシ中華

ヨリ渡ルニ音律ニカクノ如クナル

ハ不審ナリトイフ氏其故ナキニモア

ラス昔秦ノ始皇ノ惡逆ヲ避テ名アル

中華ノ樂人日本エ來リシ故日本ノ聲

ヲ聞テ其因俗ニ應スルヤヤニホシ

テ教エタルモナラシ中華ニハ士ト

民トノ間近シ日本ハ士ト民トノ間遠

シ日本ノ民ハ土民ナリ士ハ王孫ナリ

同ク民間ニス又氏士スチノモノハ民

ト座席ヲ一ツニセスコレ角調ノ高ク

シテ兵ト農別シ民困窮ノ前知ナリト

古人モ論セリト按スルニ此説信ニ難シ

五調子ノ傳ト云テアリ宮一越調ヲハ

君ニ此ス聲高シ人君ハ上ニアリ其心

清ク高カルヘト卑賤ナルトハナシ難

キナリ高平調ヲハ臣ニ比ス聲ヒクシ

人臣ハ才コリヤスキ者ナルニ依テ隨

分謙退ニ上ヲ恐レ謹テ卑下スルナリ

角雙調比民ニ比ス平調ヨリハ聲少

高シ民ハ君ノ側ニハ居スニテ離レ遠

升カル故ニ是レク卑下謙退スルハ却

テ惡シトス故ニ少シ聲高ナル體ナリ

徵黃鐘ハ事ニ比ス雙調ヨリハ聲イ

コク高シ黃鐘ハ夏ノ聲ニテ事ハ農事

ナリ天下ノ事農事ヨリ大ナルハナシ

夏ハ農業耕作ノ最中ニテ野モ山モ事

アリ繁榮ニ大ナリ時ナリ故ニ聲モ大  
ナリ羽盤渉ヲハ物ニ比ス聲高シ冬ノ  
聲ナリ夏ヨリシテ草木長シ秋ニ至テ  
コノニ熟シ冬藏リタル象ニテ物大ナ  
ルノ義ナリ冬ナレハ一陽下ニ生シテ  
春ノ陽氣ヲ含ム故ニ聲高シトス是ヲ  
君臣民事物ノ五秘事トシテ傳ルナリ  
夜鶴庭訓抄ニ出ツ此外傳多シ  
○律呂系異説アリ或人々説ニ日本人ハ

訓ニイフナレハヤハシカナルヘキ事  
ナレハ時急ナルアリ唐人ハ音ニイフナ  
レハカタクカルヘキ事ナレハ和ナリ中  
夏ノ音ハ角徵ノ間ニ二律ヲヘテ日  
本ノ音ハ高角ノ間ニ二律ヲヘテ夕  
ル違アル故ナリ故ニ壹載雙調ハ中夏  
ノ調ニシテ平調黄鐘盤渉ハ日本ノ調  
ナル事ヲ知レリ日本ハ日本ニシテ  
陽國ナリ故ニ日本ノ調ヲ律トイヒ其

二對シテ中夏名調ヲ呂ト云タルトモ  
アルヘシ中夏ノ調ニハ變徵變宮アリ  
テ嬰高ナシ日本ノ調ニハ嬰羽嬰高アリ  
リテ變徵ナシ故ニ變徵變宮ハ中夏ノ  
言ニシテ嬰羽嬰高ハ日本人ノ言ナリ  
下ヲ知ヘシ一記ニ日本ニ變徵變宮ノ  
聲ナシトイヘ凡變徵變宮ノ律ハアリ  
壹越調ノ時ハ南呂ヨリ黃鐘ニウツル  
所ニ律ヘタテ、聲和セサル故ニ應鐘  
エツタヒテ聲和スルヲ變宮ト云故ニ  
壹越調ニハ應鐘ヲ變宮トス又姑洗ヨ  
リ林鐘ニウツル所ニ律ヘタテ、聲和  
セサル故ニ蕤賓エツタヒテ聲和スル  
ヲ變徵ト云故ニ壹越調ニハ蕤賓ヲ變  
徵トス雙調ニハ應鐘ヲ變徵トシ姑洗  
ヲ變宮トスルナリ嬰羽嬰高ノ嬰ハ物  
ノワカキナリ物ハ備リヤスク臣ハ大  
ニナリ易シ故ニ高羽皆ワカキニ退テ

満サラムトス平調ニテ始洗ハ仲呂ニ  
ユキ應鏡ハ黄鐘ニユク是ナリ律ノ調  
皆シカリ物ノワカキハ聲高シ黄鐘ハ  
ヒキ、ノ始ノ應鏡ハ高キノ極ナリ  
カレ氏應鏡ヨリ高キハ又黄鐘ノ半聲  
ナリ

秘傳云  
十二調  
子假名  
有秘稱

壹越断金平調勝絶下無雙調鳥鏡黄鐘  
鸞鏡異本ニ作ル盤涉神仙上無コノ十二

ハ調ノ名ナリ古ハ十二調アリシナリ

今コレヲ十二律竹ニ名付ルハ誤レリ

十二律ノ名ハ黄鐘大呂大簇夾鏡姑洗

仲呂蕤賓林鐘夷則南呂無射應鏡コレ

ナリ中華ノ古昔黄帝軒轅氏ノ時ニ鳳

凰來儀セリ雄ヲ鳳ト云雌ヲ凰ト云天

地ノ和ヲ受タル鳥ナリ聖人天下ノ君

ト成テ風化ヲ正シ夕マフ時カク異ナ

ル靈鳥出ル故ニ黄帝此鳥ノ聲ヲ聞テ

鳳ニ六音風ニ六音アルヲ知リ伶倫

二命シテ崑崙山ノ嶰谷ニテ十二本ノ  
竹ヲ切取り陽律陰呂ノ十二管ヲ製シ  
テ鳳凰ノ聲ヲウツシ夕マフコレ律呂  
ノ權輿十リ  
樂曲ノ名ノ事

壹越調ノ曲

○弄捨○鳥○兼和樂仁明帝即位ノ元年ニ大中臣成文

作ルト根○皇帝破陣樂四箇ノ大曲ノ内十リ古中務

源抄ニ出○團亂施大曲

大曲○春鸞轉唐太宗ノ作○玉樹後庭花

○壹弄樂○賀殿兼和ノ遺唐使藤原貞敏琵琶ヲ習ヒ來ル時

貞倉ト云人勅ヲ○胡飲酒○河水樂十舞

受テ此舞ヲ作ル○韻應樂○迴杯樂

○北庭樂○酒胡子公舞子氏云○壹團

樂又壹團嬌○酒淨子○雙皋麗○歌曲

子歌一本ニ○宴飲樂舞十氏云○天

壽樂○厥磨賦○蕪羅密○古詠詩○武

德樂會四五用フ○詔應樂○二舞

○沙陀調ノ曲

○案摩有囀 ○陵王 有撲ノ囀コノ節用テハ競馬相

○新羅陵王 長舞十ニ又因 ○十天樂 寺東講

堂會ノ時笛師常世用テ魚勅ヲ奉テ ○菩

此樂ヲ造ル行道ニ用テ舞十シ ○菩

薩 ○臨色亂樂 ○迦陵頻 此樂ハ南天竺

陵頻ハ天竺ノ鳥ノ名唐ニハ教鳥ト云

此鳥ノ聲イサキヨシ此ニ效テカ鳥ノ名

トス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

コトス入夜ノ僧正 ○最涼洲 ○洪河鳥 舞

○雙調ノ曲

○柳花苑 真茂曆ト年中遣唐使ハ舞生久禮

フ本ハ大食調ニ在シヲ兼和 ○春庭樂

ノ天皇勅シテ雙調ニ入シ公和 ○春庭樂

又夏風樂ニ云從五位丁和通都大田麻

呂コレヲ作ル節舎ノ時用心ナリガ一説

号ス又天長宝壽樂ニ云ト ○挾簾河 師

田河ノ云 ○和風樂

曲ニ云 ○和風樂

○平調ノ曲

○五常樂 帝舜ノ樂十リ序破急有テ長

調ノ樂 ○萬歲樂 本階ニ煬帝ハ用明帝改メ日

氏云



作ヲ夕マフツト  
○ 淇洲  
○ 裏頭樂

根源抄ニ出ツト  
○ 越殿樂  
○ 慶雲樂

○ 皇慶草  
○ 三臺鹽  
○ 宮商荊仙樂

○ 平蠻樂  
○ 臨胡禪脫  
○ 娥

媚娘  
○ 澁金樂  
○ 豐生樂  
○ 相夫憐

府蓮十リコレハ晋ノ王儉字ハ仲實ト

云者大臣ト此ヨリ家蓮ヲ植テ愛セリ

時ノ樂十リ此ヨリ大臣ヲ蓮府ト云リ

拾芥抄ニ相夫戀ト書ス女ノ蓮夫ヲ想フ

樂十リ物語ニアルモルハ誤ト書ス又源平盛衰記

○ 永隆樂  
○ 老君子  
○ 直大

此曲ハ嵯峨天皇ノ根源抄ニ隱君子御

鳳  
○ 連珠大鳳  
○ 移都師  
○ 駱勢娘  
○ 迴

忽  
○ 雞德  
○ 扶南  
○ 倍臚

○ 小娘子  
○ 王昭君  
○ 眞  
○ 長

根源抄ニ尺八ノ此曲古ハ絶シフヲ貞

慶子  
○ 夜半樂  
○ 春楊柳

性調ノ曲

○ 西河  
○ 梅弓士  
○ 千金女

兒舞十 ○長命女兒舞十 ○反樂胡德 ○

感恩多舞十

○道調ノ曲

○上元樂 ○五更囀 ○散手破陣樂 散手

又散手長保 ○合歡鹽 太平樂ノ ○仙人

樂ト号ス ○大夫樂 ○大宝樂 ○大補

又仙ル何 ○大定樂 ○輿明樂 ○五坊樂 ○後散

○天人樂舞十

○大食調ノ曲

○大平樂 周ノ曲 = 武王ノ樂十リト云出時

樂氏 ○賀王 御賀ノ聲 ○庶人三臺 ○打毬

○傾盃樂 ○仙遊霞 ○聖明樂舞十 ○

拔頭 競馬相撲 ○放鷹樂 弘仁天長兼和

フ = 用

○乞食調ノ曲

○秦王破陣樂 ○還城樂 行幸ノ還御 =

ノ時ハ蛇ヲ ○蕪芳菲

○荇鐘ノ曲 持テ舞十リ

○喜春樂 北樂ハモト中華ノ樂ナリ陳

仁明帝改メ作リタマ ○弄殿樂 舞ナリ

海仙樂 ○蓮華樂 ○赤白桃李花 ○央宮

樂 ○河南浦 ○應天樂 舞ナリ ○安城樂 幸行

ノ時奏ス ○感城樂 舞ナリ ○重光樂 ○平

蠻樂 舞ナリ ○海青樂 舞ナリ ○散金打毬樂

舞ナリ ○聖淨樂 舞ナリ ○皇帝三臺

○捉金樂 ○長生樂 舞ナリ ○西王樂 舞ナリ

○水調ノ曲

○拾翠樂 舞ナリ ○九

城樂 ○汎龍舟 フス作ト根源抄ニ出ツ

○盤涉調ノ曲

○鳥向樂 舞ナリ ○蘇合香 大曲ノ内ナリ

東漢明帝ノ終リリカケタマフヲ ○萬秋

樂 又萬春樂 ○輪臺 五十四年大代仁明帝美

安世勅ヲ奉テ ○音海波 此舞ノ終リ

此舞ヲ如クニ立廻ル ○秋風樂 仁天王南地初テ

ト云其申ニテ ○秋風樂 仁天王南地初テ

表袴紋小菴 ○秋風樂 仁天王南地初テ

奏セ ○ 白柱舞十 ○ 劍氣禪脫又

ト号ス樂 ○ 崇明樂舞十 ○ 蕪莫者又

○ 採桑老詠 ○ 感秋樂舞十 ○ 山鶴鳩

曲 ○ 竹林樂舞十 ○ 元歌德貫子 ○ 盤涉

參軍 ○ 永寶樂 ○ 登貞樂 ○ 千秋樂 ○ 越

殿樂漢文帝ノ ○ 鷄鳴樂舞十

兼煉樂舞十

○ 角調ノ曲

○ 曹娘禪脫 ○ 遊宇女舞十

○ 高簾樂ノ曲 ○ 皇仁庭 ○ 吉簡 ○ 長保樂 ○ 納序 ○ 古

彈 ○ 新鳥蕪 ○ 古鳥蕪 ○ 退宿德 ○ 進宿

德 ○ 保蕪呂長保樂 ○ 古蕪呂長急保樂 ○

拍鉞 ○ 俱倫甲序 ○ 志岐傳 ○ 高麗龍 ○

埴破又 ○ 歸德侯都鬱 ○ 阿夜岐理

○ 葦波 ○ 鞘切 ○ 顏徐 ○ 崑崙八仙 ○ 酏

醉樂舞人十 ○ 白濱 ○ 拈桿 ○ 胡童樂 ○

進曾利古 ○ 新河浦 ○ 常雄樂 ○ 歌良古

蘇呂 ○ 作物 ○ 仁和樂 ○ 遍鼻胡德

○ 啄木

○ 保曾路久勢利 長保樂破十 ○ 賀利夜酒

長保樂ノ急 ○ 延喜樂 ○ 新鞋鞞 ○ 胡德樂 ○

柏大 ○ 石川樂 ○ 林歌 又臨河氏書ク ○ 胡蝶樂

延喜八年亭子院ノ童相撲ノ時ニ ○ 蘇

志摩利 ○ 登天樂 ○ 地久樂 櫻人ト云 ○

納蘇利

高亂聲并振鉞ノ事

○ 亂聲ト云ハ壹越調ニアリ物ノ始ニ用

フ笛ハカリニアル曲ナリ太鼓ヲアヒ

○ レヲフ事アリ樂ヲ始ニモ用ルナリ榮

花物語ノ音樂ノ卷ニモ治安三年十月

十四日御堂供養ノ時亂聲ヲ吹了ヲ戴

ス然レハ此曲ヲ用ル了久シキ了ナリ

行道ノ出夕子ニコレヲフクナリ

振鉞ハ俗ニホコリリ樂氏云フニ節ト

云了アリ左方ト右方ト一節ツ、三節

舞フナリナリ右ノ亂聲ノ調ニテコレヲ  
舞フナリナリ大鼓ハカリヲ用フ鉾ヲ持テ  
舞フナリナリ舞樂ノ始ニ必コレヲ舞フナ  
ナリ  
公家ニテ樂ヲ業トシ給フ家ノ事  
公家ニテ樂ヲ業トスル家數流下リ

○神樂ハ

綾小路ト持明院曲四辻大庭田

○唐五辻

鷺尾藪内滋野井

○和琴ハ

四辻大炊御門

○琵琶ハ

伏見西国寺今出川ノ菊亭殿

園氏綾小路

○箏ハ

四辻正親町綾小路藪内

○笛ハ

大炊御門綾小路德大寺久我

轉法輪門三條北井露寺大橋本

○笙ハ

花山院在清水谷松木四條

○山科

○箏篳ハ

綾小路

右ノ家々皆樂ヲ業トセラル、十リ

地下樂人家業ノ事

○多<sup>オホ</sup>氏ハ神樂并ニ歌ヒ物ノ家十リ又舞

和琴ヲモ業トス

○辻氏又柏氏ハ舞ヲ家業トス

○豊原氏今ハ豊氏トハ笙ヲ家業トス又

多氏辻氏モ笙ヲ吹十リ

○大神氏左方戸部氏今ハ此上氏左方辻

氏何レモ皆ハ笛ヲ家業トス

○大<sup>オホ</sup>秦<sup>タカ</sup>氏今ハ東儀氏林氏安信氏東儀踏

家十リ右ハ箏篳ヲ家業トス

左方トハ南都ノ樂人右方トハ天王寺

人樂人ヲ云ナリ樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

○ 樂入式音ナシ

和琴ノ事

萬葉集ニ梧桐ノ日本琴一面トアリ俗

又倭琴ト云伊特諸伊特冊尊ノ作り夕

マフト河海抄ニアリ無名抄ニハ倭琴

人起ハ弓六張ヲヒキナハハ是ヲ神

樂ニ用ケルカ煩キトテ後世ノ人口

ト用作りウツセリト云又文献通考ニ

倭國ノ樂ニ五弦ノ琴アリト云モ此倭

琴ノ事ナリ絃ノ名ヲ



琴一丈一尺三寸四分

寸五分 弦ヲカシテフルヲサカサマニカサ

フルホリ古斗左幾ト云物三筋搔久十

リ撥ハ類ナリ倭琴ヲハ彈ハ世云ハカ

ラズ搔ト云ハ委細ハ別ニ圖ニ記ス

大ナル物ハ六尺三寸中ハ六尺下ハ五

尺八寸ト夜鶴抄ニハハハハハハハハハ

琵琶ノ事ハハハハハハハハハハハハハハ

琵琶漢武帝ノ時ニ鳥孫公主ノ作

ナリト樂府雜録ニ出ツ一説ニ魏武コ

レ造レリト云ハリ弦ノ名ヲハハハハハ

結一七行上ハハハハハハハハハハハハハ

ト云ナリ委細ハ圖ニアリ撥ヲハハハ

云字ヲ書ナリ譜アリ別ニ記ス日本ニ

テ用ル丁ハ仁明天皇兼和年中掃部頭

藤原貞敏入唐ニテ琵琶ノ秘曲ヲ劉二

郎廉美武カト云者ニ受テヨリ傳來ス

詳ニ三代實錄ニ見エタリ

柱ヲ琵琶ニテハ千ウト

云筆ニテハ口ト千ト云又微ノ字ヲモ書タナリ

筆ノ事

筆ハ弦ヲ施ス丁筆々然タリ故ニ筆ト

云ト釋名ニアリ五十絃ヲ二十五絃ニ

シタル格ニナラヒ秦ノ蒙恬カ二十五

絃ヲニツニシテ十三絃トス秦ノ聲十

以絃ノ名ヲ

一ニニ三ニ四ニ五ニ六ニ七ニ八ニ九ニ十

斗為巾

云筆ノ柱ノ高サ三寸アリ天地人ノ

三才ニ象ルト阮瑀カ筆譜ニ出タリ筆

ノ本字ハ縵ト書スト久安二年三月三

日ノ御遊ノ時ニ宇治入道殿ノ夕マフ

ト夜鶴庭訓抄ニ出タリ別ニ圖アリ又

譜アリ外ニ記ス筆ハ兩天ニハ聲十ヲ

ス流水ノホトリ船中ニテハ聲ヒ、キ

テ格別ノ曲ニ聞フル物ナリ筆ヲ笙笛

ト合奏スル時笛ノ聲ヨリ少シサカリ  
タルトオホエテ柱ヲ夕ツヘシ大樂ノ  
舞打物アルニハカスミタルツテ撥ナ  
シタヤスクヤカニカコライセイノハ  
キニサラリクト弾合スヘシ繫コト凡ソ三ツ  
アリ是ハカケヤスキ物ナリ鹽湯ニテ  
時々洗ヘシ油ヲヒクナリアリ凡ソ筆ノ為  
ニアリキナリ夜鶴抄ノ口搏ナリ天竺人

羯鼓ノ事

羯鼓ハ戎羯ト云國ノ鼓ナリ答賜鼓凡  
二月ノ餘寒ニ羯鼓ヲウタレシニ其聲  
ノ高妙ナリシカハ百花忽ニ開キシト  
云ナリアリ今日本ニテモ之鼓ノ第一ト  
スルナリ圖ニ見ヘタリ  
三之鼓ノ事  
是ハ舞樂ノ時右方ノ樂家ニテ用ルナ  
リ羯鼓ハ左方ニテ用ルコトニ代ニ此

ヲ右方ニテ用フ片枹トテ枹ハ一本ナ  
リ其形ハ羯鼓ト同シ圖式ニ出ツ  
太鼓ノ事

帝王世記ニ云黃帝獲ヲ七シテ其皮ヲ  
以テ鼓ニ擊テアリ爾雅ニ云大鼓コレ  
ヲ鼗ト云又蔡邕獨斷ニ黃帝ノ臣岐  
伯カ作ナリトアリ枹ヲ以テ是ノ聲ヲ  
本胡コレヲ用フ因ニ見エタリ

鉦鼓ノ事

黃帝ノ臣岐伯ノ子鼓延ト云者鏡ヲ作  
ルコレ鐘ノ始ナリ鉦鼓ハ越王勾踐コ  
レヲ造ルト兼名苑ニアリ日本ニテモ  
コレヲ用ルナリ因アリ總ニテカ子ハ  
黃鐘調ノモノナリ  
笙ノ事  
笙ハ生スルト云字義ニテ物ノ地ニ貫  
テ生スルニ象ル匏ヲ以テコレヲ伶ル  
故ニ匏竽ト云ト釋名ニ出タリ世本ニ

ハ女媧ノ作ル所ト云リ大ナル物ハ三  
十六管小ナル物ハ十三管ナリ鳳ノ身  
ニ象ルト説文ニ出タリ今ノ笙ハ十七  
管アリ唐ノ世ニ桂氏通典ニ出ツ古ノ笙  
ハカシラヲ靚ニテ作ル今ノ笙ハ木ニ  
テ作ルナリ竹ノ名ヲ  
千<sup>セン</sup>十<sup>シウ</sup>下<sup>ケ</sup>乙<sup>ヲ</sup>工<sup>ク</sup>美<sup>ト</sup>一<sup>イチ</sup>八<sup>ハチ</sup>也<sup>ヤ</sup>言<sup>コト</sup>  
七<sup>シチ</sup>行<sup>キウ</sup>上<sup>シヤウ</sup>九<sup>ク</sup>乞<sup>キ</sup>毛<sup>モウ</sup>比<sup>ヒ</sup>  
ト云此中ニ也ノ竹ト毛ノ竹トハ篔簹十  
シ其外ハ皆簧アリ也ノ竹トハ麝香ヲ  
入ル是ハ息ノ穢氣ヲ去ルタメナリト  
夜鶴庭訓抄ニ出ツ秘傳ナリ吹ク時ハ  
カシラヲ爐火ニアタメテ吹クナリ  
笙ハ大臣ノ象ナリ獨ナラズレ相ヒ竹  
六本一度ニ鳴ルハ賢者ヲス、ムルノ  
義ナリ指ツカヒモ大ヤウナル者ナリ  
委細ハ圖式ニ見エタリ謄アリ別冊ニ  
シルス

篳篥ノ事

説文ニ菴ト云國ノ人篳篥ヲ吹テ馬ノ  
眸ヲ驚シ軍用ニ備フト云樂府雜録ニ  
ハモトキウヒ遍茲國ノ樂十リト云リ又感篳  
氏書キ胡笳氏云角氏云胡角氏云十リ  
九孔アリ名ハ  
シ四イキウコクホウ一上ゴ工ロク凡ロク五ロク六  
上云フ裏ノ方上ニアル孔ヲ上ト云フ  
下ニアル孔ハ無名ハ孔十サ又用ル丁  
ナシシ簧シアリシ蒼ニテ造ル蘆葉ヲ卷テ吹  
クト唐韻ニアリ日本ニテハ揚州雜波  
ノ蘆ヲ用テ吹ク十リ簧ヲ才サユル物  
ヲ世米ト云委細図ニアリシ簧ニ本譜假  
名シ簧ノ別アリ

横笛ノ事

笛ハ滌十リ邪穢ヲ滌テ雅正ヲ納ト云  
字義十リト風俗通ニ出夕リ芟帝伶倫  
ニ命シテ笛ヲ作ヲセ夕マフト云説ア

リ律書楽圖ノ説ニハモト恙ト云國ヨ  
リ出ルヲ漢ノ張騫カ西城ニ使セシ時  
始テ一曲ヲ傳フソレヨリ李延年傳受  
シテ新聲二十八曲ヲ伶ルトアリ管ニ  
七孔アリ其名ヲ  
子<sup>カシ</sup>五<sup>コ</sup>上<sup>シヤウ</sup>夕<sup>サク</sup>中<sup>チウ</sup>六<sup>ロク</sup>下<sup>カ</sup>  
ト云フ歌口氏ニハ八孔アリ委細因式  
ニ見エタリ此譜ニモ本譜假名譜以兩  
品アリ

簫ノ事

高麗ニ用ル笛十リ兼名苑ニ簫ハ吹處  
ヲ除テ六孔ノ笛十リト云リ孔ノ名ヲ  
干<sup>カン</sup>五<sup>ゴ</sup>上<sup>シヤウ</sup>夕<sup>サク</sup>中<sup>チウ</sup>六<sup>ロク</sup>  
ト云フ委細因式ニアリ譜アリ別ニシ  
ルス  
柏子ノ事ス筍拍子氏書ス  
蔣勳カ切韻ニ拍ハ打ナリ板ヲ拍以樂  
器ノ名ナリト云リ別ニ圖アリ

琴ハ禁ノ字義ニテ邪ヲ禁止シテ人ノ  
心ヲ正スト白虎通ニ見エタリ世本ニ  
伏羲ノ作ナリトアリ隋ノ音楽志ニハ  
琴ハ神農ノ製シ給フ時五絃アリ周ノ  
文工二絃ヲ加テ七絃トシ給フト云又  
舜ノ五絃ノ琴ヲ作テ南風ノ歌ヲ製シ  
給フト云説アリ古今原始ニハ伏羲ヨ  
リハ代以前ノ聖人朱襄氏士達ニ命シ  
テ五絃ノ琴ヲツクラシムトアリ今日

本ニ傳來ル琴ハ七絃アリ絃ノ名ハ

宮キウ 商シヤウ 角カク 徵チ 羽ウ 文ブン 武ブ

ト云フ本ト五絃ニ周ノ文王武王ノ加工  
給フト云ニ文武ト云委細別ニ図アリ

祝シク 敵キヨノ事

祝ト敵トニツナリ帝嘗ノ共工ヲ亡シ  
テ造リ給フ所ナリ祝ハ箱ノ如クナル  
物ノ中ニ立 撞チウ 木ホクノ様ナル物ヲ建テ左右  
ヲ撃ツナリ敵ハ虎ノ形ニシテ其背ヲ



切彫タル物ナリ何レモ木ニテ製シタ  
 ル物ナリ別ニ因アリ樂ノ初ト終ニ此  
 ヲ夕、キラフナリ日本ニモ古ハ河南  
 浦ト云樂ニ此ヲ用フ今ハ其樂モ絶工  
 祝敵モ用スト乐人过近家ノ訖ナリ家  
 伯耆守ト称ス正徳寺卯ノ年  
 東武ニ來リ舞樂ヲ勤ノレナリ  
 舞樂ノ器并服ヲ事  
 ○一鼓 ○二鼓 ○奚婁 ○鼗鼓 ○劔 ○鉦 ○  
 面 ○雞冠 ○白杖 ○蛇 ○  
持還城樂

挿頭カサシノ花ト云櫻アルヒハ歎冬  
 禁中ヨカサシノ花ナリ臨時ノ祭コレヲ  
 リ賜ル ○小忌ノヲ文コ口モト云竹カ相  
 ミカ ○摺袴 ○濃袴 ○下褌 ○羊躰 ○  
 打衣仁安三年四月三日 ○絲鞋舞臺ハ  
 打衣伊輔濃打衣ノ着ス ○  
 リナ ○狩衣コレハ夏ハ靴ニテ表ナシ  
 樂器ヲ入ル袋ノ事  
 總シテ樂器ノ袋ハ表ハ錦ノ赤地ニ浮  
 線綾ヲ用ヒ裏ハ唐綾ヲ用フ色ハ定ヲ  
 ス箏ノ袋ハ錦二幅ナリ和琴袋モ同シ

但し唐錦琵琶袋も同事ナリ琴ノ袋ハ

ハ用ヒス絹地金襴ヲ用ル丁本式ナリ

本胡用ヒサル樂器ノ事

瑟シ篳篥クク阮コ咸ゲ新羅琴シヨク已上コト絃ノ方磬ホウ筑チクハ是

ウナウナ物モノ埴篳ウナ簫ソウ洞簫ドウソウ長笛チヤウフエ鐵笛テツフエ已上コト管ノ

此等ノ類ハ名ノミニテ本胡イマタコ

レヲ用ヒス○

